

タクシー会社など「外国船」照準 試験ツアー

清水港発着 市内巡って

外国客船で清水港を訪れた外国人観光客に静岡市内の観光名所を巡ってもらおうと、地元の旅業者とタクシー会社などが13日、清水港発着型のツアーを試験実施した。港到着後に申し込む形のツアーは初めて。

同日到着した大型客船 浅間神社を巡るコースや、「ノーティカ」の乗客を対 三保松原を訪ねた後イチゴ狩りや温泉を体験できるコースを用意した。ツアーには通訳案内士が帯同し、小型タクシーを使った一部ツ

2コース用意 22人参加



ジャンボタクシーを使った市内ツアーの説明を受ける外国人観光客（右） 13日午後、清水港

アーは静岡大生がボランティアで案内した。

船内での呼び込みは不可能だったが、港の案内ブースには次々と観光客が立ち寄り、米国やオーストラリア、シンガポールなどの計22人が申し込み。千代田タクシー（葵区）のジャンボタクシーなどに乗り込んで各地へ出発した。

ツアーを企画したローカルトラベル・パートナーズ（駿河区）の石垣裕包社長は「団体のツアーバスは港から市外に向かうことも多い。ツアー利用者の感想などを基に、旅行者の市内滞在が便利になるような仕組みを考えたい」と話した。

乗り合い定額タクシー観光 外国船客の需要探る

静岡の研究会



乗船客に英語でタクシーツアー利用を呼び掛ける静岡の学生たち（中央の2人）＝静岡市清水区の清水港で

清水港（静岡市）に

寄港する外国客船の乗客向けに、乗り合いの定額タクシーによるパツケージツアーの需要を探る実験的な取り組みが十三日あった。静岡市のタクシー会社、通訳案内士の団体、静岡大などでつくる静岡からしの足研究会がタクシー利用の新たな可能性を探る狙いで企画した。

研究会が昨秋、外国客船の乗客にアンケート

とし、ニーズを調べたところ、大型バスの観光は大人数で安心な一方、温泉や神社仏閣など、小回りが利くパツケージの需要が浮かび上がった。

日本平や久能山東照宮、三保松原などを周遊する三コースを用意。この日寄港したマシヤル諸島船籍の客船「ノーティカ」（約三〇、〇〇〇トンの乗客約六百人のうち、バスツアーを事前予約していない約半数の取り

込みを図り、下船時にアピールした。欧米、香港から来た計二十四人が利用した。留学経験がある静岡大二年の山梨夏水さんら学生三人がボランティアでタクシーに同乗した。ツアーを運営した石垣裕包さんは「寄港前のPRが重要で、英語のホームページを作って船内からツアーを検索できるようにしたい」と述べた。

（河野貴子）